

令和7年度 第2回 南丹市多文化共生推進委員会 議事録

日 時：令和7年12月15日（月）午前10時～午前11時40分  
場 所：南丹市役所 3号庁舎 2階 第5会議室

1 はじめ

事務局	今から南丹市多文化共生推進委員会を始めます。委員のみなさまには、お忙しいなかご出席いただき、ありがとうございます。 それでは、はじめに委員長からあいさつをお願いします。
委員長	みなさん、こんにちは。前回に引き続き、やさしい日本語を使いながら、この委員会を進めていきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。 さて、12月1日時点で、南丹市に住む外国人の数は713人となっています。1年前は625人だったので、1年間で90人ほど増えています。前回の委員会から今日までの間、国の政策が変化し、外国人を自分たちの国に返そうというような動きが強まっており、外国人に不安が広がっています。そんななか、南丹市では外国人が増加し、仕事や子育てに励む人が増えており、国の動きと私たちの暮らしとの間にズレが生じているように感じます。みんなが安心して暮らせるよう、この委員会で話し合うことはとても大切なことだと思います。ぜひ積極的に意見を出していただければと思いますので、よろしくをお願いします。
事務局	みなさま、ありがとうございました。 それでは、ここからの進行については、委員長にお願いいたします。

2 意見交換

委員長	では、意見交換を始めたいと思います。はじめに、事務局から説明をお願いします。
事務局	前回の委員会で、多文化共生推進委員会と一緒に、「多文化共生庁内推進委員会」という市役所内の委員会を設置することをお話ししました。 10月2日、第1回目の庁内推進委員会を行いました。庁内推進委員会では、市役所で外国人とどのようなつながりがあるか、また、外国人と接するなかで思うことについて意見交換をしました。意見は、 <b>資料</b> にまとめています。 今回は、庁内推進委員会での意見も参考に、市でこんな取り組みをしてみてもいいかなという意見や、最近、身近な外国人とこんなことを話した、こんなことも課題に感じたなど、自由にお話しいただければと思います。事務局からの説明は以上です。
委員長	それでは、 <b>資料</b> 第1回多文化共生庁内推進委員会での意見を見ながら、順番に話し合いたいと思います。

■南丹市総合防災訓練、外国人のための防災教室（国際交流協会主催）について

委員	国際交流協会で開催された外国人のための防災教室については、実施していかがでしたか。
----	---

委員	10月に実施予定でしたが、天候が悪く中止しました。2月15日に改めて実施予定です。この防災教室では、毎年、市役所からは災害の時に自分の身を守るためにする行動や避難所についてお話しいただき、消防署からは火事を起こさないためにすることや、火事が起きたときの通報体験を実施いただいています。
委員	以前参加しましたが、参加してよかったと思います。
委員	外国人の方に体験してもらっただけでなく、市役所や消防署の方と外国人との接点を作り、どれだけ外国人に伝わっているのかを感じてもらえる場になればと思っています。
委員	市の防災訓練には外国人1名の参加があったようですが、過去には、20名ほどが参加し、バケツリレーをしたこともあります。過去の防災訓練の際、ムスリムの方が参加されたのですが、炊き出し訓練で作ったカレーに豚肉が入っていて食べられなかったということがありました。市にも課題としてお伝えしていただいていると思いますが、その辺りが市役所内でもどんな風に伝えられているのか、また、今年参加された方への支援など、何か事務局で聞いていることがあれば教えてください。
委員	今回の防災訓練の炊き出しでは、おにぎりが出されていませんでした。
事務局	参加された1名の方については、国際交流協会の方に全面的にサポートいただいたので、市の職員が直接関わって何かしたということはありませんように聞いています。
委員	より多くの外国人の方に参加してほしいですね。そのあたりも、また市で話していただければと思います。

#### ■外国人の両親を持つ子ども、母国語支援員について

委員	母国語支援員について、支援の詳しい状況など、事務局で把握していることがあれば、教えてください。
事務局	外国人の両親を持つ子どもが増えており、日本語がわからなかったり、急な対応が必要な場合も多く、大変な状況だという話は聞いています。母国語支援員の詳しい支援状況などは把握できていないため、確認したいと思います。
委員	母国語支援員という存在を始めて聞きました。なかなか支援が難しいという話のようですし、母国語支援員について、もう少し詳しく知りたいので、ぜひ次回の委員会に来ていただけたらと思います。
委員	母国語支援員は、殿田小学校、胡麻郷小学校、園部第二小学校に行かれてるかと思っています。学校の先生から教育委員会を通さず、直接、お願いできませんかと電話がかかってくるような状況と伺っています。ちなみに、亀岡市では、母国語支援員と日本語支援員の両方が設置されています。母国語支援と日本語支援は別で考えないといけないかなと思いますが、そのあたりいかがですか。
委員	私は滋賀で暮らしており、在日ブラジル人の食と農について研究しています。滋賀に関しては、通訳の人数も多く、日本語を学ぶ機会が少ないです。ブラジル人学校があるものの、皆さんブラジルに帰るという前提で勉強しているため、日本語を身につけないまま大人になってしまいます。結局日本に残る方も多く、社会に出たときに日本語がわからず困ってしまう方が多いです。母国語もちろん大切ですが、日本で暮らし、将来を考えることができるよう、両方の教育が必要だと思います。ただ、全て学校に投げってしまうのは難しいなと思います。

委員	外国人の両親を持つ子どもが増えています。母国語で両親と話せることはとても大切なことであり、両親が話している言葉を子どもがしっかり身につけていないと、日本語も育たないということが研究で言われています。また、子どもが大きくなり日本語ができるようになると、今度は親と会話ができにくくなってしまいます。だから、母国語支援というのはとても大切だということも言われています。両方の言葉を育てていくこと、そのための支援をしていくことが大切であり、そんな理由から「母国語支援員」という名前がつけられているのかなと思います。単なる通訳ではないと思いますし、次回の委員会では、もう少し詳しい話を聞けたらなと思います。
委員	言語だけでなく、2つの文化を身につけて大きくなる子どもたちは日本社会にとって、将来活躍してくれる大切な存在だと思います。私自身、通訳として学校などに行くことがあります。やっぱり先生方は外国人の子どもを困った子として扱うことが多いです。言語や習慣を知らないうちは確かに困っていますが、その部分さえ架け橋があれば、可能性を持つ子どもたちがたくさんいる、そんな子どもたちの可能性をサポートするんだという視点を持ってほしいと思います。
委員	子どもたちだけでなく、きっと外国人住民の方に対しても同じだと思います。以前、外国人のお子さんの検診に付き添いで行ったことがありますが、職員の方に何度も「何か困っていることはありませんか？」と聞かれ、お母さんが苦笑いしていたことがありました。「困っている人」とずっと見られるのも、やっぱり違うのかなと思います。このあたり、また詳しく話ができればと思います。 保育所や学校で困っている人が多いという意見もありますが、なかなか先生方だけでは対応できないこともあるかと思っています。当団体でもサポートできるので、小さなことでも色々挙げていただき、委員会を活用しながら連携ができればと思います。

#### ■来庁時の対応について（翻訳機能、申請書の記入例（外国語版）の作成について）

委員	先日、市民課の職員の方と話したときにも、手続きの際に翻訳アプリを使われる外国人の方が多く、市役所の職員側が使い方に慣れていなかったり、自分のスマホを仕事で使うわけにもいかず、困ったりしていると聞きました。翻訳アプリは使うことが多いですか？
委員	アプリを使って、やり取りすることが多いです。
委員	学校では、子どもたちは全員タブレットを持っているので、タブレットの翻訳機能を使ってやり取りしているようです。市役所でも機械を導入できないでしょうか。
委員	購入時期のタイミングなどありますが、導入を検討したいと思います。

#### ■病院での対応について

委員	最近では、手術だけでなく、検査の際にも同意書が求められる場合がありますが、外国人の患者さんがどれほど理解できているのか、疑問です。患者に寄り添った支援が必要だと思います。そのあたりも、先進的な事例を学び、南丹市では何ができるのかを考える必要があると思います。
委員	医療向けのやさしい日本語の研修動画もあります。そういったものも、ぜひ病院

	<p>内の研修で使ってほしいと思います。</p> <p>また、私が所属する団体で、やさしい日本語の研修会を実施した際、病院の間診表をやさしい日本語に書き換えるワークを行いました。ただ改善されるのを待つだけでなく、こうすればわかりやすいのではないのでしょうかと提案していくのも、この委員会ですることかなと思います。病院で一番はじめに書く書類はどう思いますか。難しいですか。</p>
委員	<p>病院で一番はじめに書く書類や、入院のときの書類は難しいです。でも、わかるところもあるので、誰かに読んでもらって、それを聞きながらチェックをすると、早く書くことができました。</p>
委員	<p>難しい言葉も、翻訳アプリを使えば、写真を撮るだけで色々な言語に翻訳してくれますし、そういう点では少しずつ簡単になっているのかもしれない。</p>
委員	<p>以前、病院から中国人の患者さんに、治療方法について説明したいので補助をしてほしいと依頼がありました。医療通訳にあたるため、お断りしました。</p>
委員	<p>通訳に行かれるとき、病院と一緒にいったことはありますか。</p>
委員	<p>一緒にいったことがあります。簡単な病気の説明や、薬の説明は通訳することがあります。重い病気や手術など、命に関わるような通訳は困りますね。わからない部分は、はっきりわからないと言わないと、間違ってしまったら大変です。</p>
委員	<p>命に関わるような病気に関しては、専門性が必要なことなので、医療通訳としてされている方でないと、本当に取り返しのつかないことになる可能性もあります。外国人が多いところでは、医療機関が医療通訳の方を雇われている場合もあります。医療機関と自治体が連携しながら準備する必要があると思います。</p>
委員	<p>今後、南丹市でも、もっと課題になってくることではないかなと思います。出産も増えると保健師の方から伺っています。</p>
委員	<p>出産でも、医療が必要となるような出産の場合もありますし、非常にセンシティブな内容にもなるかと思います。近隣の大きな自治体と連携するなどがあっても良いのかなと思います。</p>
委員	<p>ベトナムの方で、これから出産を控えている方は増えていますか。</p>
委員	<p>増えていますね。出産は不安なので、出産のときだけベトナムに帰る人も多いです。</p>
委員	<p>日本で生まれ育った2世の方や、小さい頃に日本に来て教育を受けた方など、両方の言語や文化を分かっているような方たちを支援し、医療や生活の現場で通訳として活躍できるような人に育てていくことも必要だと思います。10年後、20年後を見据え、育てていく必要があると思います。</p>

#### ■市内で働く外国人について

委員	<p>市内の各企業でどんな外国人の方が働かれているのか、そのあたりは商工の部署等で把握できているのでしょうか。</p>
委員	<p>市は住基台帳で、どこにどんな外国人が住んでいるのかは把握していますが、どの企業にどんな外国人が働いているのかを知っているのはハローワークなので、市からハローワークに情報を共有するよう要望してほしいと思っています。</p> <p>特に派遣社員については不安定であり、派遣会社との責任分担も曖昧なことが多いです。技能実習・特定技能の外国人は直接雇用ですが、技術・人文知識・国際業</p>

	務の資格を持つ方、南米系の日系の定住者は派遣が多いです。
委員	<p>南丹市でも派遣の方が増えているなど感じています。日本語があまりできないという不自由さや、雇用の不安定さもあり、少し気になっています。</p> <p>技術・人文知識・国際業務の資格を持つ方は家族帯同もできるので、日本語が全くわからない家族が日本に来ると、またその子どもの問題も出てきて…と全てが繋がってくるので、考えないといけない課題だと思います。</p> <p>南丹市としても、どういった人（国籍・資格・直接雇用か派遣なのか等）が働いているのかという情報をつかんでおくことも必要かと思っています。</p>
委員	<p>在日ブラジル人に関して言うと、50～70代が増えており、大きな問題として無年金の問題を抱えています。企業の雇用状況や社会保障のことなど、今後のために調査していく必要があるかもしれません。また、ソーシャルワーカーのような立場の方が自治体や教育委員会にも必要なのかなと思います。外国人が直面しやすい問題に精通していて、通訳の方と連携をとりながら支援をする。20年、30年後を想定した支援ができるような仕組みを作らないといけないのかなと思います。</p>

#### ■交通・ゴミの決まりについて

委員	交通やゴミの決まりなど、会社で研修しているが、なかなか難しいということですが、これは企業から市役所に意見が出されたのでしょうか。
事務局	商工観光課で外国人を雇用している企業を対象にアンケートを実施したところ、課題として、企業内で研修を実施しているものの、外国人労働者も増えており対応が追いついていないという意見があったと聞いています。
委員	船井郡衛生管理組合が作成した、やさしい日本語と英語、ベトナム語で作られたゴミの出し方がありますが、ホームページで調べてみると、すぐに見つかりませんでした。調べたときにすぐに見つけられるよう、改善は必要かなと思います。
委員	地域によっても出し方が違いますよね。また、市役所でもらえるゴミの出し方はベトナム語がないです。
委員	市役所で配布されているゴミの出し方やカレンダーは、ベトナム語がありませんね。ゴミの出し方は、特にアパートでは、直接、ゴミの収集業者と契約している場合もあるため、南丹市の出し方とは違います。外国人の方が分別できていないだけでなく、正しい情報が外国人に届いていない可能性もあります。
委員	情報の周知に関して、企業と地域の両方からアプローチが必要です。民生児童委員さんとも連携が必要かなと思います。
委員	困ったことがあったとき、お互いに話しあえるよう、地域でのつながりが大切だと思います。民生児童委員さんなどに、こういう資料があるというのを知っておいてもらおうと、困ったときに使えるかもしれません。

#### ■他市町の取り組み

委員	最後の意見に、「外国人は地域にとって大切な人。みんなが住んでよかったと思えるようなまちを考える必要がある。」とあります。これは、これまで色々お話ししてきたことにつながるのかなと思います。そのなかで、南丹市でこの委員会が始まったことは大きなことだと感じますが、他の市町村でも同じような動きが出ています。
----	--

委員	先日、新聞にも掲載されていましたが、綾部市で「多文化共生連絡会議」という会議が行われたようです。京都府、警察、社協、事業者、自治会などが入っていると聞きました。
委員	京都新聞に、南丹市でも多文化共生の委員会ができたことを伝え、市民の方に向けて発信してもらえると、市民の関心も高まるのではないかなと思います。ちなみに、亀岡市では多文化共生センターが設置されていて、庁内の会議も以前から実施されています。兵庫県丹波市では、多文化共生推進基本方針を作成され、同じような委員会も設置されています。
委員	兵庫県豊岡市でも、多文化共生の会議があり、一度市役所まで話を聞きに行きました。京都府内では、京丹後市が多文化共生推進プランを作成しています。

### ■その他

委員	<p>前回の委員会でもお話ししましたが、市営住宅の申込みについては支援が必要だと思います。申込みの時の資料として、今の住宅の間取り図を作成する必要がありますが、外国人だけではなかなか難しいです。外国人も市民の権利として、申込みができるよう、どんな支援が必要なのか検討してほしいと思います。</p> <p>また、この委員会も市民に公開してほしいです。審議会や委員会は、開催予定や議事録がホームページで公開されていますが、この委員会は掲載されていません。</p>
事務局	<p>この委員会は、法令や条例に基づく委員会ではないため、現在ホームページで公開はしていません。ただ、市民の方に知っていただくことは必要だと思いますので、他の審議会、委員会と同じページには掲載できませんが、広報の方法含め、検討したいと思います。また、確認は必要ですが、取材に来ていただいたり、市民の方で興味がある方に傍聴に来ていただいたりはできるのかなと思います。この委員会の委員についても、必要に応じて増やしたり、詳しい話を聞きたい方を呼んだり、ご提案いただきながら、柔軟に対応できればと考えています。</p>
委員	<p>法令や条例に基づく委員会ではないので、ある程度の自由度があるので、話し合いながら進めていければと思います。また、庁内推進委員会についても、今は一部の部署が集まっていますが、検討する内容に応じて追加できればと思います。</p> <p>外国人の方との関わりについて、報告だけですが、先日開催した南丹市のジョギング大会に、男前豆腐に勤務されている外国人の方8名に参加いただき、一緒に走って交流いただきました。地域の行事に参加いただき、楽しんでいただければ、良い機会になったなと感じています。</p>

### 3 おわり

事務局	<p>最後に、お知らせと報告をさせていただきます。</p> <p>本日、京都府国際センターが主催されるイベントのチラシを3枚配布しました。平日開催のものもありますが、ぜひご参加いただければと思います。</p> <p>また、報告ですが、前回の委員会でご意見いただいた「やさしい日本語」研修会を南丹市国際交流協会と共催で、11月28日に行いました。当日は日本語教室ボランティアの方、市民団体、外国人雇用企業、学校、社会福祉協議会、民生児童委員、市職員など22名の方に参加いただきました。研修を通して新たな発見や学びがあった、外国人に勇気を出して話しかけてみたいと思った、職場や日々の活動の</p>
-----	--

	<p>なかで活かしたいと思った等、感想をいただきました。また、研修会の場が新たなつながりの場にもなっており、良い機会になったのではないかなと感じています。</p> <p>委員のみなさまには、開催日時や広報等、様々なご意見をいただきありがとうございました。次年度も開催できればと考えていますので、引き続きご協力をお願いいたします。</p>
委員長	<p>京都府国際センター主催のイベントについて、皆さんには、ぜひこんなイベントがあるということを広めてもらえたらと思います。</p> <p>今日の委員会で出た意見を市役所内でも共有いただければと思います。それでは、以上をもちまして、南丹市多文化共生推進委員会を終わります。ありがとうございました。</p>